学校番号	413

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新　現代の国語（桐原書店）						
副教材等	現代文　解法のテクニック１　三訂版（啓隆社） 漢字検定対応（５～２級）パスワード級別漢字・反復ノート（浜島書店） プレミアムカラー国語便覧・準拠ノート（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○国語力の柱の一つである「文章を論理的に読む力」を身につけましょう。論理的な文章（評論や論説文など）ばかりだけでなく、文学的な文章（小説・詩歌など）を的確に読解する力も高まるはずです。
　そのために、次のことに留意して学習しましょう。
　●語彙を増やす。　●常用漢字を中心に、漢字を使いこなす力を伸ばす。　●読書を習慣づける。
　●「なぜ？」を大切にして、自発的に考える力を養う。　●「正しい日本語」を身につける。
○「書く」「話す」力＝コミュニケーション能力を身につけましょう。そのために、
　●級友など、他者と共同して学ぶ姿勢を身につける。
　●グループワークなどで、積極的に自分の意見を述べるとともに他人の意見を傾聴する。
○学習は教室で完結するものでなく、家庭等での学習も大切です。上の副教材にあげた教材を積極的に活用してください。定期的に提出を求める他、定期考査や小テストなどで学習の成果を確認します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
「実社会で必要な国語の基礎知識や技能を身につける。」
・言葉の持つ働きや話し言葉・書き言葉の特徴を理解し、場面や目的に応じた適切な言葉遣い・表現ができるようにする。
・文章の構成・展開の仕方、情報の扱い方、資料の妥当性・信頼性の吟味など、論理的に理解・表現するための技能を育成する。
【思考力、判断力、表現力等】
「論理的に考え、豊かに想像し、他者と伝え合う力を伸ばす。」
・文章や情報の内容・構成を的確に捉え、要旨や要点を把握したり、読み手として評価・解釈したりする力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】
「言葉の価値への認識を深め、生涯にわたって国語に親しむ態度を養う。」
・言葉と文化のつながり、読書の意義・効用を理解し、自己の向上と社会・他者との関わりに言語を生かそうとする姿勢を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
Ⅰ	随想の基本的な読み方を習得する。 ［教材］ わからないぐらいがちょうどいい	a:常用漢字を活用し、語彙を豊かにする。 b[話/聞]:言葉を通じた他者理解についての筆者の考えを読み取ったうえで、自らの経験に照らして自分なりの言語観を持つ。 c:教材から読み取った内容を実社会に照らし合わせて自らの問題として提起し、論じることで理解を深めている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 課題提出	ワークシート ノート 課題提出 振り返りシート
	読み手や聞き手を意識しながら、見たことや感じたこと、考えたことを言葉に表現する。 ［教材］ ふしぎと人生	a:二項対立的な内容を把握しながら、全体の構成を的確に捉える。 b[読]:「ふしぎと人生」について、実社会の中から目的や場にふさわしく、かつ信頼性や妥当性のある情報を吟味し、効果的に可視化して伝えている。 c:自分の考えの根拠を明確に示し、表現の工夫も意識して、積極的に他者にわかりやすく伝えようとしている。			
	論理の展開を意識しながら、文章を理解し、考えを述べる。 ［教材］ 演劇と「人間の速度」	a:話し言葉と書き言葉の語彙の特徴や役割、表現の特色や違いを十分に認識した上で、状況や相手によって、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意や親しさなど表現や言葉遣いに工夫を持たせて伝えようとしている。 b[話/聞]:「演劇と『人間の速度』」について、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるよう表現を工夫している。 c:比較や具体例を通じて理解した筆者の見解や論理の展開を踏まえ、自らの考えを深めようとしている。			
	普段と異なる視点から物事を見て、固定されがちな考えを揺さぶってみる。 ［教材］ 星の目で見る	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。 b[読]:「星の目で見る」について、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:本文に叙述された本に対する思いを積極的に読み取り、根拠を示してまとめようとしている。			
Ⅱ	時代に対する語り手の批評の意識に迫り、現代の課題について考えを広げる。	a: 話し言葉と書き言葉の語彙の特徴や役割、表現の特色や違いを十分に認識した上で、状況や相手によって、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意や親しさなど表現や	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート

	［教材］ 夢十夜（第一夜・第六夜）	言葉遣いに工夫を持たせて伝えようとしている。 b[書]:「夢十夜（第一夜・第六夜）」について、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c：自らの想像力を働かせて未来の姿を思い描き、発信しようとしている。	小テスト	課題提出	課題提出 振り返りシート
	立場の違い、時代や文化の違い、価値観の違いなどを踏まえて、他者を意識する。 ［教材］ わかろうとする姿勢	a：話し言葉と書き言葉の語彙の特徴や役割、表現の特色や違いを十分に認識した上で、状況や相手によって、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意や親しさなど表現や言葉遣いに工夫を持たせて伝えようとしている。 b[読]:「わかろうとする姿勢」について、書かれた文章の特徴や、構成、論理の展開などについて叙述を基に捉え、内容について批評的な視点で読んでいる。 c：自分とは違う文化や価値観などに目を向け、他者との関わりを振り返ったり、他者について考えるなど、他者を理解しようとしている。			
	論理の組み立て方を身につけて、考えをわかりやすく伝える。 ［教材］ 羅生門	a：話し言葉と書き言葉の語彙の特徴や役割、表現の特色や違いを十分に認識した上で、状況や相手によって、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意や親しさなど表現や言葉遣いに工夫を持たせて伝えようとしている。 b[書]:「羅生門」について、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：各教材のさまざまな論理展開を確認して論理の組み立て方を身につけ、自分の考えを伝えようとしている。			
	普段と異なる視点から物事を見て、固定されがちな考えを揺さぶってみる。 ［教材］ 世界の周縁に身を置く人	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。 b[書]:「世界の周縁に身を置く人」について、題材を実体験や他教科での学習経験、複数の媒体などと関連づけたものを設定し、集めた情報の重要度・位置づけを明確にすることができている。 c：固定化されがちな見方や考え方に対して、その意義や本質について改めて考え、発信し、積極的に新たな視点で物事を捉えて視野を広げようとしている。			
	物事を観察して矛盾を発見し、問いのかたちにして考える。 ［教材］ 問いの立て方とオリジナリティ	a常用漢字が読めるだけでなく、表記を文脈に応じて使い分け、仮名を用いるなどして読み手が読みやすいよう配慮している。 b[話／聞]:「問いの立て方とオリジナリティ」について、実社会の中から目的や場にふさわしく、かつ信頼性や妥当性のある情報を吟味し、効果的に可視化して伝えている。 c：自分が抱いた疑問や矛盾について具体的な問いを立て、粘り強く問いに向き合うことで、自らの考えを深めようとしている。			
Ⅲ	論理の組み立て方を身につけて、考えをわかりやすく伝える。 ［教材］ 経済の論理／環境の倫理	a話し言葉と書き言葉の語彙の特徴や役割、表現の特色や違いを十分に認識した上で、状況や相手によって、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意や親しさなど表現や言葉遣いに工夫を持たせて伝えようとしている。 b[読]:「経済の論理／環境の倫理」について、書かれた文章の特徴や、構成、論理の展開などについて叙述を基に捉え、内容について批評的な視点で読んでいる。 c：各教材のさまざまな論理展開を確認して論理の組み立て方を身につけ、自分の考えを伝えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 課題提出	ワークシート ノート 課題提出 振り返りシート
	想像する力を発揮して、望ましい未来の姿を思い描く。	a：話し言葉と書き言葉の語彙の特徴や役割、表現の特色や違いを十分に認識した上で、状況や相手によって、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意や親しさなど表現や			

	［教材］ 目の見えない人は世界をどう見ているのか	言葉遣いに工夫を持たせて伝えようとしている。 b:[話/聞]「目の見えない人は世界をどう見ているのか」について、話す内容が相手に正確に伝わり、理解を得るための適切な言葉や発話ができており、相手の共感を引き出して話を深めることができている。 c:自らのSNSやメディアの利用の仕方を主体的に振り返り、今後の学習や実践に生かそうとしている。			

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間